

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-33	中学校	美術	美術	第1学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
9 開隆堂	726	美術1		

1. 編修の趣旨及び留意点

●編修の趣旨

平成28年度用美術科教科書の編修については、教育基本法における教育の目的及び教育の目標を全体の枠組みとし、義務教育の目的である「各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基礎的な資質を養う。」ことを基本とし、学校教育法が義務教育の目標として掲げるもののうち、「生活を明るく豊かにする音楽、美術、文芸その他の芸術について基礎的な理解と技能を養うこと。」を編修方針の中心としている。さらに、学習指導要領が示す美術科の目標である「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。」を編修の基盤に置き、小学校図画工作科での学習経験をもとに、高等学校芸術科美術、工芸等への学習の発展を考え、中学校段階での感性や能力の発達に対応する系統的学習を重視した題材によって構成している。

具体的な各題材の内容構成については、学習目標や学習の具体的な方法、培うべき資質や能力、学習の振り返りを整理して紙面に示し、全体として美術科の目標を達成できるよう配慮した。また、すべての生徒にとってわかりやすく、見やすい魅力的な紙面で、楽しく充実した学びを目指すとともに、学習活動の見通しと振り返りを示すことで生徒の自立を促し、「美術文化の学習を通じた人間教育」の実現を図ることを心がけた。

●編修の留意点

(1) 生徒の主体的な学びを保障する

美術の学習に意欲的に取り組み、生徒が自ら美術文化についての理解を深めようとする姿勢を育てることを大切にし、生徒にとって興味・関心をもちやすい題材や作品を精選した。

(2) 自分自身を見つめ、深めることを大切にする

中学校段階の諸能力の成長とともに、自己や他者に対する眼差しの深まりを促し、美術の学習を通しての自己理解や、自分と他者や社会のかかわり合いを考える学習を重視した。

(3) 豊かな感性を育む

優れた美術文化との出会いによって、豊かな感性を育てることを大切にし、生徒が自らの発想や構想を生か

した表現や鑑賞の学習が展開できるようにした。

(4) 美術を学習する目的や意義を確認し、学習の方法を理解できるようにする

美術の学習の目標や学びの意味を考えて、各題材に意欲的に取り組めるようにするとともに、美術科の基礎的な学習方法を理解できるようにした。

(5) 小学校図画工作科との関連及び高等学校芸術科美術、工芸等への発展を配慮する

第1学年の題材では小学校図画工作科での学習との関連を重視し、第2学年及び第3学年の題材では高等学校芸術科美術、工芸等における芸術文化の学習への発展を配慮した。

(6) 学習活動の構造を明らかにする

学習の動機付けから学習の成果を確認するまでの一連の学習活動がわかりやすく把握、理解できるように、学習のねらいや振り返りなどを示した。

(7) 学習の成果や身に付けた能力を生かす

美術科の学習で育てた能力を生活の場で生かすことの重要性を理解し、さらに、将来の職業観の育成へと発展できるようにした。

(8) 基礎的な学習項目や理解すべき項目など明示する

基礎・基本を重視し、より効率のよい学習の展開を可能にするために、基礎的な学習項目をわかりやすくまとめ表示し、多様な題材での学習に生かすことができるようにした。

(9) 多様な優れた美術文化を広く提示する

義務教育最終段階の学習であるとの視点から、国民として必要な美術文化についての知識や理解を保障するために、日本及び諸外国の優れた美術文化を精選し、幅広く多面的に提示した。

2. 編修の基本方針

(1) 生徒の興味・関心を高める魅力ある題材の開発を進める

中学校段階の諸能力の発達を考慮し、生徒にとって身近な造形美術を多く取り上げ、意欲的に学習に取り組める題材の開発に取り組んだ。また、小学校図画工作科の学習と中学校美術科の学習の関連に配慮するとともに、中学校美術科の学習の目的や意義を確認する中で、意欲的に学習に取り組めるようにした。

(2) 題材の学習目標や内容に応じたページ構成を設定する

学習内容を精査する中で、学習の深まりや広がり重視し、それぞれの題材の範囲に応じて2ページから4～8ページ構成とするなど、多様な実践に対応する可能性を広げられるようにした。

(3) 第2学年及び第3学年を一冊にし、効率のよい学習の展開を進める

学習指導要領の趣旨を生かし、第2学年及び第3学年の題材を一体化して示すことにより、表現と鑑賞の学習の深まりを促すとともに、豊富で多様な資料が提示できるようにした。

(4) わかりやすい解説や資料を多くし、生徒の主体的な学習活動を促す

わかりやすい解説や基礎的な学習の方法、多彩な資料などを適宜配置し、学習の広がりを期すとともに、生徒が自ら主体的に学習できるよう配慮した。

(5) 地域の文化財や美術館・博物館の施設の積極的活用を促す

学校外の文化財や組織、人材の活用は、美術科においてはその社会性からも重要事項であり、それらをもとにした題材を設定した。

(6) 自己と社会、美術と社会のかかわりを考える題材の開発をする

美術の学習の意義を考え、美術科で育てた力を社会との関連においてどのように生かすかを、中学校3年間の学習のまとめに位置づけるとともに、高等学校芸術科美術、工芸等への発展を配慮した。

(7) 表現と鑑賞の領域の関連や系統性、バランスを考えた題材の構成を図る

表現の学習と鑑賞の学習の関連を重視し、第1学年の学習から、第2学年及び第3学年の学習へとその内容の深まりと広がりを見守るとともに、多様な展開を可能にする題材の充実を図った。

3. 対照表 1年

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ番号)
美術って、何だろう？	美術の学習の目的を協働することの大切さに置き、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度の育成を目指している(第3号)。	2～4
集める・試す・組み立てる	美術の学習の基本的な方法を理解し、幅広い知識と教養を身に付ける姿勢を培うことを目指している(第1号)。 また、発想や構想を重んじ創造性を培うことを目指している(第2号)。	5～7
ものを見つめる	観察力の育成によって、真理を求める態度を育て、豊かな情操を育てることを目的としている(第1号)。	8～9
心ひかれる風景	自然へのまなざしとそこからの表現を学習し、生命を尊ぶことや自然を大切にする態度を育成する(第4号)。 また、それらを通して豊かな情操を育てることを目的としている(第2号)。	10～15
比べてみよう	優れた美術作品の比較鑑賞を通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度の育成を期している(第5号)。	16～17
人の形のおもしろさ	人間の観察を通して、個人の価値を尊重する態度の育成と創造性を培うことを目指している(第2号)。	18～21
彫刻動物園	動物の観察と表現を通して、生命を尊び、自然を大切にする態度の育成を目指している(第4号)。	22～23
不思議昆虫図鑑	さまざまな材料を用いた表現の学習を通して、幅広い知識と教養を身に付けることや豊かな情操を培うことを目指している(第1号)。 また、昆虫等の観察と表現を通して、生命を尊び、自然を大切にする態度の育成を目指している(第4号)。	24～25
原寸ギャラリー 伊藤若冲「樹花鳥獣 図屏風」	優れた日本の美術作品の鑑賞を通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度の育成を期している(第5号)。	26～27
表現の広がり	造形表現の方法を学習し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うことを期している(第1号)。	28～29
写し取る形	版画による造形表現の方法を学習し、幅広い知識と教養を身に付け、	30～31

	真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うことを期している（第1号）。	
生活を豊かに	デザインの造形活動を学習し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うことを期している（第1号）。また、デザインの学習成果を生かし、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指している（第3号）。	32～37
材料を生かして	工芸の造形活動を学習し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うことを期している（第1号）。また、工芸と生活の関わりを学習し、創造性を培うことや職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことを目指している（第2号）。	38～43
動きのおもしろさを使って	動きのおもしろさを使って、卒業生に感謝の気持ちを伝える造形活動を学習し、自他の敬愛と協力を重んずる態度の育成を目指している。（第3号）	44～45
美しさの交流	美術の学習活動を通じた交流によって、自他の敬愛と協力を重んずる態度の育成を目指している（第3号）。	46～47
私の歩み	美術の学習活動を記録整理し、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことを目指している（第2号）。	48～49
パレットコーナー	基礎的造形技法を学習し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うことを期している（第1号）。	50～51
道具箱	造形活動のための道具やその使い方について学習し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うことや健康やかな身体を養うことを期している（第1号）。	52～54
色彩ホームページ	色彩について学習し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うことを期している（第1号）。	55～57

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1) 「学習の目的」と「学習の振り返り」を示し、学習展開を明確にした

各題材で大切にしたい重点的な学習活動や、その題材を通して生徒に育てたい力を解説文でわかりやすく示し、それらをもとにした自己評価の観点を「学習の振り返り」として各題材の末尾に、4観点によりわかりやすく簡潔な文章で示し、言語活動に配慮した。

(2) 基礎的な技能や基本的な知識や理解をわかりやすくまとめて提示した

基礎的な技能や安全で効果的な道具の扱いについての知識、色彩についての理解などは、表現を支える学びとして、わかりやすく系統的に学習する必要がある。これらを巻末にまとめて提示し、効率よく多様な題材の学習に対応できるよう汎用性に配慮した。

(3) 関連する学習題材をまとめて、4ページや6～8ページで展開する大型の題材として編修した

発展的、系統的な題材を効果的に配列構成するだけでなく、題材間で関連する学習内容を明らかにし、ひとつの題材として構成することで、多様な授業実践の展開に対応できるようにした。

(4) 鑑賞学習の充実と「問いかけ」の設定によって導入の工夫をした

鑑賞の学習を重視し、折込みページの活用や大型図版の掲載、原寸大の作品の提示によって、鑑賞学習の充実を図るとともに、鑑賞学習の導入及びきっかけとなる「問いかけ」を設定し、鑑賞学習への興味・関心を高めるように工夫した。

(5) 学習の成果を言葉で評価し、理解を深め合う学習活動を積極的に題材化した

学校教育全般に渡って言葉の学習が重視されることを踏まえ、美術科における言葉の学習に配慮し、感想文やレポートを書いたり、発表し合ったりすることによって、表現や鑑賞を深める題材を設定した。

(6) 視覚的効果やデザイン性に優れ、色彩豊かな扱いやすい教科書づくりに配慮した

美術科の教科書としてのデザイン性や美しさに配慮し、レイアウトや体裁、色彩の豊かさなどを追求し、生徒の美的感覚や情操を刺激し、最も身近で生涯にわたっての「美術書」となることを目標に作成するとともに、カラーユニバーサルデザインに配慮し、多様な視覚の生徒にも対応できる紙面デザインを心がけた。ページのレイアウトは生徒にとって見やすく理解しやすいことを大切にし、すべての生徒にとって学習したいという意欲がわいてくるように工夫した。活動の情景などもできるだけ大きく掲載し、実際の学習活動の状況がわかりやすく伝わるようにした。また、材料や技法などの理解にも配慮して多くの情報を掲載した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-33	中学校	美術	美術	第1学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
9 開隆堂	726	美術1		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●題材ページとともに資料ページを充実させ、学習の広がりや深まりを促した

資料ページには、題材における学習の導入やガイダンス、まとめの資料及び表現のための技法理解、鑑賞材料など多岐にわたる内容を取り上げた。

p.2～4 「美術って、何だろう」

p.5～7 「集める・試す・組み立てる」

p.16～17 「比べてみよう」

p.26～27 「原寸ギャラリー 伊藤若冲「樹花鳥獣図屏風」」

p.46～47 「美しさの交流」

p.50～51 「パレットコーナー」

p.52～54 「道具箱」

p.55～57 「色彩ホームページ」

●題材ページには、「学習の目的」と「学習の振り返り」を示し、学習展開を明確にした

各題材で大切にしたい重点的な学習活動や、その題材を通して生徒に育てたい力を解説文でわかりやすく示し、それらをもとにした自己評価の観点を「学習の振り返り」として各題材の末尾に4観点によりわかりやすく簡潔な文章で示した。

●「絵や彫刻などに表現する活動」と「デザインや工芸などに表現する活動」を整理し、明確に示した

題材ページは、活動ごとに系統性をもたせてバランスよく配列した。目次（1年p.4）及び本文には、題材名とページ番号に加えて、内容・領域内容を色分けして示し、それぞれ題材タイトルのページにもサインで示した。

●生徒の興味・関心を高める魅力ある題材の開発を進めた

中学校段階の諸能力の発達を考慮し、生徒にとって身近な造形美術を重視し、意欲的に学習に取り組める題材の開発に取り組んだ。また、美術の学習の目標や学びの意味を考えて、各題材に意欲的に取り組めるようにするとともに、美術科の基礎的な学習方法を理解できるようにした。

p.2～4「美術って、何だろう」

p.5～7「集める・試す・組み立てる」

●第2学年及び第3学年を一冊にまとめ、効率よい学習の展開を進められるようにした

学習指導要領の趣旨を生かし、第2学年及び第3学年の一体化した学習をより強化し、表現と鑑賞の学習の深まりを促すとともに、豊富で多様な資料が提示できるようにした。

●わかりやすい解説や資料を多くし、生徒の主体的な学習活動を促した

わかりやすい解説の充実を図り、関連するコラムや資料などを適宜配置し、学習の広がりを目指すとともに、生徒が自ら主体的に学習できるよう配慮した。

●小学校図画工作科の学習との関連を配慮した

第1学年の題材では小学校図画工作科での学習との関連を重視した。

p.2～4「美術って、何だろう」

p.5～7「集める・試す・組み立てる」

p.52～54「道具箱」

●題材の学習目標や内容に応じたページ構成を設定した

学習内容を精査する中で、学習の深まりや広がりを重視し、それぞれの題材の内容に応じて2ページから6ページ構成とするなど、多様な実践に対応する可能性を広げられるように、関連する学習をまとめて大型の題材ページを設定した。

p.10～15「心ひかれる風景」

p.32～37「生活を豊かに」

p.38～43「材料を生かして」

●地域の文化財や美術館及び人材の積極的活用を促した

学校外の文化財や組織、人材の活用は、美術科においてはその社会性からも重要事項であり、それらを促す

題材を設定した。

p.2～4「美術って、何だろう」

●自己と社会、美術と社会のかかわりを考えるページを設定した

美術の学習の意義を考え、美術科で育てた力を社会との関連においてどのように生かすかを学習の動機づけとして、また中学校3年間の学習のまとめと位置づけて題材を設定した。

1年 p.2～4「美術って、何だろう」

p.37「地域の施設に壁画を描こう」

2・3年 p.10～11「美術はいつも生活や暮らしの中に」

p.96～98「生きることと美術」

p.99～102「平和と美術」

●表現と鑑賞の学習の関連や系統性、バランスを考えた題材の構成を図った

表現の学習と鑑賞の学習の関連を重視し、第1学年の学習から、第2学年及び第3学年の学習へとその内容の深まりと広がりを見守るとともに、鑑賞学習のための資料ページの充実を図った。

1年 p.16～17「比べてみよう」

p.26～27「原寸ギャラリー 伊藤若冲「樹花鳥獣図屏風」

2・3年 p.18～19「劇的な瞬間を描く」

p.20～21「ルネサンスの美術」

p.22～23「原寸ギャラリー レオナルド・ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」

p.46～47「原寸ギャラリー 長谷川久蔵「桜図」

p.52～53「ゴッホと日本」

p.62～63「祈りの造形」

●鑑賞学習の充実と「問いかけ」の設定によって導入の工夫をした

鑑賞の学習を重視し、折込みページの活用や大型図版の掲載によって、鑑賞学習の充実を図るとともに、鑑賞学習の導入もくしはきっかけとなる「問いかけ」を設定し、鑑賞学習への興味・関心を高めるように工夫した。

●基礎的な技能や基本的な知識や理解をわかりやすくまとめて提示した

基礎的な技能や安全で効果的な道具の扱いについての知識、色彩についての理解などは、表現を支える学

びとして、わかりやすく系統的に学習する必要がある。これらを巻末にまとめて提示し、効率よく多様な題材の学習に対応できるよう汎用性に配慮した。

p.5～7「集める・試す・組み立てる」

p.52～54「道具箱」

p.55～57「色彩ホームページ」

2. 対照表 1年

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所 (ページ番号)
	各学年の内容	内容の取扱い	
美術って、何だろう	B鑑賞 (1) ア [共通事項] (1) ア, イ	(2)	2～4
集める・試す・組み立てる	A表現 (1) ア, イ (3) ア, イ [共通事項] (1) ア, イ	(1) ア	5～7
ものを見つめる	A表現 (1) ア, イ (3) ア, イ/B鑑賞 (1) ア [共通事項] (1) ア, イ	(1) ア (2) (3)	8～9
心ひかれる風景	A表現 (1) ア, イ (3) ア, イ/B鑑賞 (1) ア [共通事項] (1) ア, イ	(1) ア, イ (2) (3)	10～15
比べてみよう	B鑑賞 (1) ア, イ [共通事項] (1) ア, イ	(2)	16～17
人の形のおもしろさ	A表現 (1) ア, イ (3) ア, イ/B鑑賞 (1) ア [共通事項] (1) ア, イ	(1) ア, イ (2) (3)	18～21
彫刻動物園	A表現 (1) ア, イ (3) ア, イ/B鑑賞 (1) ア [共通事項] (1) ア, イ	(1) ア, イ (2) (3) (4)	22～23
不思議昆虫図鑑	A表現 (1) ア, イ (3) ア, イ/B鑑賞 (1) ア [共通事項] (1) ア, イ	(1) ア, イ (2) (3) (4)	24～25
原寸ギャラリー	B鑑賞 (1) ア, イ [共通事項] (1) ア, イ		26～27
表現の広がり	A表現 (1) ア, イ (3) ア, イ/B鑑賞 (1) ア [共通事項] (1) ア, イ	(1) ア (2) (3)	28～29
写し取る形	A表現 (1) ア, イ (3) ア, イ/B鑑賞 (1) ア [共通事項] (1) ア, イ	(1) ア (2) (3)	30～31
生活を豊かに	A表現 (2) ア, イ, ウ (3) ア, イ/B鑑賞 (1) ア [共通事項] (1) ア, イ	(1) ア, イ, ウ, エ (2) (3) (4)	32～37
材料を生かして	A表現 (2) ア, イ, ウ (3) ア, イ/B鑑賞 (1) ア [共通事項] (1) ア, イ	(1) ア, エ (2) (3) (4)	38～43

動きのおもしろさを使って	A表現 (2) ア, イ, ウ (3) ア, イ / B鑑賞 (1) ア [共通事項] (1) ア, イ	(1) イ (2) (3) (4)	44~45
美しさの交流	B鑑賞 (1) ア [共通事項] (1) ア, イ	(2) (4)	46~47
私の歩み	A表現 (2) ア, イ, ウ (3) ア, イ / B鑑賞 (1) ア [共通事項] (1) ア, イ	(1) イ (2) (3) (4)	48~49
パレットコーナー	A表現 (3) ア, イ [共通事項] (1) ア, イ		50~51
道具箱	A表現 (3) ア, イ [共通事項] (1) ア, イ		52~54
色彩ホームページ	A表現 (3) ア, イ [共通事項] (1) ア, イ		55~57